

登録コード	HM106300	開講年度	2026					
授業題目	病態生理学特論					担当教員	田淵 克彦 他	
英文授業名	Pathophysiology					副担当	森 琢磨・白井 良憲	
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
講義室				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加							
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					神経疾患の病態を生理学的観点から理解する。		
(2)詳細 /Detailed information	自閉症、統合失調症、学習障害、依存症などの精神疾患から、運動障害、認知症やパーキンソン病などの神経変性疾患の病態について、分子メカニズムにもとづいて理解する。							
(3)授業の概要 /Overview of course	自閉症、統合失調症、学習障害、依存症などの精神疾患から、運動障害、認知症やパーキンソン病などの神経変性疾患の病態について、分子メカニズムにもとづいて学習する。							
(4)授業計画 /Course plan	第1回 シナプス分子の異常と自閉症をはじめとする精神疾患の病態について 第2回 シナプス分子の異常と自閉症をはじめとする精神疾患の病態について 第3回 シナプス分子の異常と自閉症をはじめとする精神疾患の病態について 第4回 シナプス分子の異常と自閉症をはじめとする精神疾患の病態について 第5回 シナプス分子の異常と自閉症をはじめとする精神疾患の病態について 第6回 運動障害の病態について 第7回 運動障害の病態について 第8回 運動障害の病態について 第9回 運動障害の病態について 第10回 運動障害の病態について 第11回 神経変性疾患の病態について 第12回 神経変性疾患の病態について 第13回 神経変性疾患の病態について 第14回 神経変性疾患の病態について 第15回 神経変性疾患の病態について							
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	中間試験50点、期末試験50点 得点率による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀、89-89% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可							
(6)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容・テキスト ・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/ Reference work(s)	予習、復習、課題を行うため、パソコンができる環境を準備すること。							
(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	メールなどで時間予約の後、居室まで来室のこと。なお、授業中あるいは授業の直後は、直接質問してもらってよい。							
(8)授業の形式 /Course format	オムニバス形式。							